

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年10月9日（水）

2 確認箇所

G6タンクエリア

3 確認項目

G6タンクエリアD9タンク天板損傷の原因調査の状況

4 確認結果の概要

令和元年10月8日に多核種除去設備処理水をG6-D9タンクから移送した際、タンクから通常より大きな音がしたため、作業員がタンクを確認したところタンクの変形と損傷（天板に穴）が確認される事象が発生し、本日その原因調査が行われたことから、現場の状況を確認した。

- ・現場確認時には、数名の作業員がタンクの天板に登り天板破損の原因調査が開始されていた。（写真1-1）
- ・損傷があった天板付近の手摺りに歪みが生じていた。（写真1-2）
- ・G6-D9タンク周辺は、「関係者以外立入禁止」の表示をしてロープで区画されていた。（写真2）
- ・G6-D9タンクの連結弁は天板破損に伴う隔離処置のため「全閉」となっており、操作禁止を示す標札が取り付けられていた。（写真3）
- ・現場の作業員によると、原因調査を行ったあと天板に開いた穴に応急処置として雨対策の養生を行うとのことであった。

なお、本原因調査によりタンクのベント管に養生が入ったままになっていたことが明らかになっており、タンク変形は、内部の水位低下により内部圧力が低下したことが原因と推定されている。



(写真1-1)
原因調査の様子



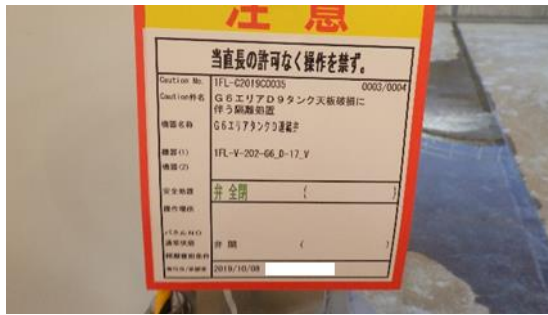
(写真1-2)
赤丸部分の手摺りが歪んでいる



(写真2)



(写真3-1)
赤丸部分が操作禁止を示す標札



(写真 3-2)
標札拡大

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。